

日越大学は、日本とベトナムの両政府により両国の友好と結束の象徴として設立され、2016年9月にベトナムのハノイで開校しました。現在、修士課程8専攻プログラム（地域研究[MAS]、企業管理[MBA]、気候変動・開発[MCCD]、環境工学[MEE]、グローバル・リーダーシップ[MGL]、社会基盤[MIE]、ナノテクノロジー[MNT]、公共政策[MPP]）を開講しています。2015年4月から5年にわたり実施された JICA 技術協力「日越大学修士課程設立プロジェクト」（TC1）に引き続き、本年4月からは同「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」（TC2）が開始されています。

また、本年から新しく学士課程を開講し、58名の新入生を迎え今年より日本学プログラムが開講しました。日越大学においてもコロナ禍で遠隔講義や本邦インターンシップの延期を余儀なくされるなど大きな影響を受けていますが、これまでと同様に皆様からの温かいご支援・ご協力を賜れば幸いです。

## Top News

### 菅首相が日越大学の学生と懇談（10月19日）



菅首相、山田大使、古田学長と学生との記念写真

2020年10月19日（月）午後、就任後初めての外国訪問でベトナムに訪された菅義偉首相が日越大学を訪問されました。日越大学では地域政策に関するスピーチを行った後、学生との懇談会に臨まれました。懇談会には日越大学7名と外国語大学3名の計10名が参加し、終始和やかな雰囲気の中、日本語で行われました。

グエン・ニュー・ナム・アインさん（Mr. Nguyen Nhu Nam Anh：日越大学修士課程 MBA プログラム）からの「菅首相が日課にしていることはありますか」という質問に、首相は「毎日5時に起床し11時に就寝するように心がけています。朝晩100回ずつの腕立て伏せと40分の散歩を日課としています」と気さくに応じられました。

首相からの「皆さんは日本へ行ってみたいですか」との問いに「もう一度、日本に行きたいです」と答えたヴ・ホン・ガンさん (Ms. Vu Hong Ngan 日越大学修士課程地域研究プログラム日本研究) は、集合写真の撮影で菅首相と隣りになり、首相から「日本の都会と地方のどちらに行きたいですか」と小声で訊かれたことについて、「地方に行きたいと答えました。とても緊張しましたが、首相は温かい雰囲気でおしさを感しました」と振り返りました。

懇談会には、今月から開講したばかりの学部1期生のチャン・タオ・グエンさん (Ms. Tran Thao Nguyen) も参加しており、「新入生のオリエンテーションで菅首相の訪問を知ったばかりで、まさか自分が懇談会に参加できるとは思わなかった」と感動した様子でした。

最後に菅首相は「皆さんが卒業後に日本とベトナムの架け橋として活躍することを期待します」と述べ、学生たちを力強く激励されました。



菅首相の訪問を歓迎する日越大学の学生



菅首相に質問するグエン・ニュー・ナム・アインさん (写真左側)

### 新型コロナウイルス (COVID19) 感染症対応について：

日越大学では手指消毒スポットの設置、教室の入室人数の制限、オンラインでの講義の実施などの対策をとっています。新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があった者、濃厚接触者と接触した者はその段階に応じ隔離されます。両国の往来が停止されており、日本から教員が渡越できない状況が続いていますが、日越大学ではこれまでに培った経験を活かし、オンライン講義を実施しています。

本年の修士課程における本邦インターンシッププログラムについては、ベトナム国内での実施を基本とし、本邦での実施については今後の状況を見ながら検討することとしています。



## 4月～10月のトピック

### 日越大学ニュース：



#### 【ジョブフェア 2020 を開催しました。】

「日越大学ジョブフェア 2020」を8月7日(金)に開催しました。コロナ禍にもかかわらず、ベトナム国内外から14社に対面またはオンライン形式で出展していただきました。今回の開催は日越大学の他にも日本語教育を行うハノイ国家大学の他大学にも学生の参加を呼びかけ、約90名の学生が参加しました。

開会式では、オアイン副学長より参加企業および学生への挨拶があり、引き続き日越大学の学生の進路状況や就職の傾向などを紹介しました。

本ジョブフェアはベトナムにおける新型コロナウイルス感染第二波の中での開催となったため、参加者にマスクの着用や入室前の検温と手指消毒を義務付け、また、各企業には個室が割り当てられ、入室人数を制限しながらの実施となりました。

企業説明および学生面談は3回(1回につき約1時間)行われました。時間や入室が制限される中、学生は希望する複数の企業の説明会に積極的に参加しました。



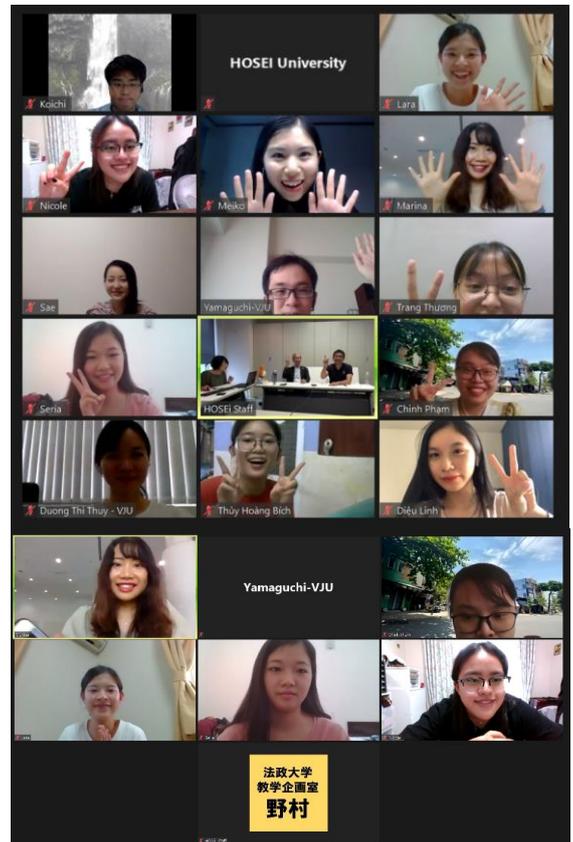
#### 【法政大学とオンライン・サマープログラムを実施】

8月31日(月)、日本とベトナムをインターネットで接続し、法政大学との間でオンラインによるサマープログラムを実施しました。日越大学からは学部への入学予定者を含む5名、法政大学からはグローバル教養学部等の学部学生7名(うち1名はベトナム中部のフェ大学に留学中)が参加しました。

プログラムでは英語と日本語を交えて、自分自身に関わるクイズやお気に入りの場所の紹介、コロナ禍によって往来が難しい中で将来の日本留学や旅行についてのディスカッションが行われました。

接続環境が万全ではなく多少の言葉の問題もありましたが、参加したベトナム人学生からは「この状況下でも日本の学生と友達になれて、とても意義深く面白いプログラムだった」等の意見が寄せられました。

日越大学は、今後も様々な機会を通じて、日本の学生との交流活動を促進して行きます。





## 修士プログラムニュース：

### 【修論審査について】

今年度の修論はコロナ禍の影響により、多くの学生達にとって非常に困難なものとなりました。研究活動に様々な支障が生じただけでなく、中には母国に帰国中でベトナムに戻れなくなり、やむを得ずオンラインで審査に臨む留学生達もいました。ミャンマーからの留学生は、ヤンゴンにある日緬センターに発表場所と現地試験監督を特別に提供していただいたことで、この危機を乗り越えています（日緬センターは日越大学の留学生募集活動にも協力していただいています）。このように今年度の修論審査は学生や教職員の努力だけでなく、国内外の様々な機関や多くの人達の支えもあってコロナ禍の影響を乗り越えることができました。関係者の皆様にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

2020年8月・9月の修了者数

修士プログラム	修了者数
地域研究（日本研究）[MASJ]	7
地域研究（ベトナム研究）[MASV]	4
企業管理[MBA]	15
気候変動・開発[MCCD]	15
環境工学[MEE]	9
社会基盤[MIE]	4
ナノテクノロジー[MNT]	6
公共政策[MPP]	5
合計	65



MCCDプログラムの修論審査の様子

### 修士論文テーマの紹介（一部）

#### 地域研究（MAS）

地域研究の学生は、日本研究は日本語で、ベトナム研究はベトナム語あるいは英語で論文を執筆します。また学際的な学問の性質上からテーマも多岐にわたり、人文系から社会科学系に至るまで様々です。今期はコロナの影響による活動制限のために、フィールドワークが思うように実施できず、データを収集するのに苦労した学生もおりますが、皆それぞれに工夫し、最終的にはすべての学生が無事に修士号取得に至ったことはプログラムとしてうれしい限りです。

#### 【修士論文テーマ】

##### 地域研究<日本研究 MASJ>

- 「子ども中心主義」の視点から見た日本の「生活科」とベトナムの「自然と社会」における授業展開の比較
- 現代日本における 8050 問題－中高年ひきこもりへの支援活動に着目して
- コンビニエンスストアの経営における営利性と社会性の関係
- 1990 年代ベトナムにおける紙芝居－日越文化交流の事例として
- 在日外国人労働者に対する日本語指導研修の改善－ベトナム人技能実習生の日本語習得の現状を事例として
- 日越国際結婚家庭における子供の継承語としての日本語教育－親の意識構築への影響要因を中心に
- グローバル時代における日本のパブリック・ディプロマシーに関する考察（1 期生）

##### 地域研究<ベトナム研究 MASV>

- 現代ハノイの若者における聖母道についての認識（ベトナム語での執筆）

- ドゥオンラム村ー観光活動状況と持続可能な観光サービス供給の解決（ベトナム語）
- グエン・ズー作「トゥイ・キョウの物語」と井原西鶴作「好色五人女」・「好色一代女」における「色情」と「銭財」の観念（ベトナム語）
- 2014年からの中国に向けた日越国防協力（英語での執筆）

### 企業管理[MBA]

本年はコロナ禍の影響により、日本に帰国していた学生がベトナムへの再渡航ができず、横浜国立大学のご協力により同大学にて最終修論審査を実施することもありましたが、無事に修了することができました。

#### 【修士論文テーマ】

- ベトナムにおける、Eラーニング学習継続の意思に影響を与える要因の研究
- ベトナムの零細企業の借金返済能力の決定要因の分析
- 個人間の対立および職業上のストレスが、ベトナムの従業員の組織コミットメントに与える影響および社会的なサポートの役割
- 環境配慮型購買行動に影響を与える要因の分析

### 気候変動・開発[MCCD]

MCCDにとっては今回が初めての修論審査でありましたが、加えてコロナ禍の影響もあり、学生・教職員共に苦勞が絶えない大変な修論活動となりました。気候変動分野は超学際的研究であるため、学生達の研究テーマも自然科学から社会科学まで非常に幅広くユニークです。最終審査会では一発表当たり2時間近くをかけ極めて有意義な議論が交わされました。

#### 【修士論文テーマ】

- ハノイの短寿命気候汚染物質と気候変動に関する研究
- 気候変動がイネの根部エンドファイトの共生に及ぼす影響
- 作物成長モデルを用いたイネの生育と収量の温暖化影響評価
- メコンデルタにおけるグレー・グリーンインフラによる海面上昇適応策の費用便益分析
- 気候変動と暴力的紛争：アフリカ・チャド湖における事例研究

### 環境工学[MEE]

本年3～4月にかけて教員および学生ともに社会隔離の影響を受け、実験作業の停止を余儀なくされました。その後も3密を避けた時間差作業にて、多くの学生の修了時期が当初の予定よりも数か月遅れましたが、何とか無事に修了することが出来ました。

#### 【修士論文テーマ】

- 持続可能な窒素循環のための新たな都市と農村の関係構築
- プラスミドが媒介するコリスチン抵抗性遺伝子の都市水環境における挙動と食物連鎖
- 発泡廃ガラスと外部炭素源を用いたハイブリッド型人工湿地の改良
- 鉄電解プロセスにおける腐植物質の挙動とリン除去に及ぼす影響
- 活性炭繊維（ACF）と粒状活性炭（GAC）の吸着・生物分解能の比較

### 社会基盤[MIE]

社会基盤プログラム第3期生7名のうち3名はコロナの影響によりインタビューやデータ保持者とコンタクトがとれず、情報収集やデータ収集が遅れたため、現在も研究を継続しています。他方、理論的な分析を中心に研究を行った4名の学生は予定どおり進めることができ、7月に修論審査会を行い

ました。日本の審査員にはオンラインで審査会に参加していただきました。社会基盤プログラムの修論審査は一人当たりの時間が極めて短く効率的に一人当たり 15 分のプレゼンテーションを課し、質疑応答は最大 15 分としました。評価については、適切かつ公平な評価を徹底した結果、委員間の合意が大変スムーズでした。ベトナムでは修論審査会は学生にとって大きなイベントであり、学生の親や恋人がオブザーバーとして参加することもあります。本修論審査ではそのようなケースはありませんでした。今回初めて評価委員として参加した他大学の教員には、本プログラムの学生が流暢な英語で発表したことに大変よい印象を持っていただき、その後、好意的に VJU を広く宣伝していただいています。

【修士論文テーマ】

- ナノチューブで強化されたコンポジットプレートと多孔質傾斜機能材料のコアで構成された多層構造体の熱環境における非線形動的応答および振動の分析
- 実験室および実地試験から得られた水平圧密係数 (Cr) に関する比較研究
- 熱および爆風荷重を受けた多層傾斜機能材料の自由振動および非線形動的応答に及ぼす多孔性の影響に関する分析
- セメント深混合法で作成された頭部拡大杭により改善された地盤の剛性増強に関する理論分析および数値解析

ナノテクノロジー [MNT]

【修士論文テーマ】

- グラフェン/ SiO<sub>2</sub> およびグラフェン/ h-BN への有毒ガスの吸着
- 銀ナノ粒子と創傷治癒で間葉系幹細胞の組み合わせについての研究
- 太陽蒸気発生装置のためのバイオメタマテリアルの応用
- 大規模製造に適用するための PMMA ミクロスフェアの製造に関する研究。

公共政策 [MPP]

【修士論文テーマ】

- ASEAN 自由貿易協定 (AFTA) による地域間の貿易フローへの影響：自動車産業からのエビデンス
- 公立学校と私立学校の選択要因：ハノイの高等学校のケーススタディー
- 人口構造の変化によるベトナムの経済発展への影響
- ベトナムのガソリンと石油ビジネスのための環境保護の法律
- 国際送金によるベトナムの世帯消費パターンへの影響



## 【社会基盤 (MIE) プログラム:ハノイ都市鉄道 3 号線見学会を実施】

ハノイ市の中心部から西の郊外に延びる都市鉄道 3 号線 (ハノイ駅~ニョン) は、アジア開発銀行 (ADB)、ヨーロッパ開発銀行 (EIB) およびフランス政府からの資金協力により建設されています。ハノイ市の都市鉄道事業の建設現場は、社会基盤プログラムの学生にとって大変貴重な見学場所です。これまでに第 1 期生が駅とデポを見学し、第 2 期生は駅建設工事と夜間高架橋仮設工事の現場、第 3 期生はレール溶接と駅建設を見学しました。

6 月 24 日、本プログラム第 4 期生は、コロナ感染第 1 波が沈静化したタイミングでハノイ都市鉄道管理委員会 (MRB) の協力を得て、駅建設現場の見学を実施しました。最初に、MRB の代表幹部による都市鉄道全体の開発計画および整備進捗に関する講義を受講しました。シールド工法の説明を受け、模型を見学した後、ハノイでのシールド掘削予定を伺いました。その後、ハノイ国家大学前に位置する完成間近の駅を見学しました。

当時、ベトナム国内ではコロナの市中感染が 2 ヶ月発生しておらず、市内の警戒は緩んでいましたが、見学現場ではマスクの着用が義務づけられていました。

コントラクターの韓国人技術者から駅の構内動線の構造、駅の屋根に使われる断熱性が高く、透光性の高い特殊なプラスチック材料などについて英語で説明を受けました。通訳を介さずにコミュニケーションが出来たのは同技術者にとって珍しいとのことでした。

見学後に学生が提出したレポートには、きちんと整理整頓された建設現場の印象が大変強く、また、ハノイ市の都市鉄道整備計画の全体像を理解できた点について述べられていました。

建設が予定通りに進めば、2021 年 4 月にシールドマシンの実際の施行現場を見学するチャンスがあるかもしれません。



建設中の駅でコントラクターから説明を聞く第 4 期生



完成に近いホームにて

## 【企業管理 (MBA) プログラム : RILAP 特別講座を開催】

9 月 7 日 (月)、日越大学は特定非営利法人アジア・環太平洋地域法律研究所 (RILAP) による秋季法律特別講座 “Legal topics in Vietnam and Japan” をオンラインで開催しました。

(RILAP の HP : <https://www.rilap.org/>)

今回は一般参加を告知したところ、多くの方々に関心を持っていただき、日越大学の大学院生の他にも貿易大学 (VJCC)、ベトナム国内外の企業から約 100 名がオンラインで参加しました。



日越大学で受講する一般参加者の様子

午前の講義プログラムでは、国際紛争解決概説（塚原長秋先生）、国際商事仲裁（佐藤安信先生）、入管法と外国人雇用制度（杉田昌平先生）を行い、午後の講義プログラムではM&Aに焦点を当て日越の比較にも言及したM&Aスキーム（布井千博先生）、公開買付（内藤加代子先生）、競争法と企業集中規制（土生英里先生）、外資規制（岩瀬真央美先生）を行いました。

講義の様子はVJUのウェブページからもご確認いただけます。

<http://vju.vnu.edu.vn/news/general-news/rilaf-special-lecture-series-legal-topics-in-vietnam-and-japan-nde273.html>

RILAP Special Lecture Series 01  
**LEGAL TOPICS IN VIETNAM AND JAPAN**  
2020 EDU-Port Japan Supported Project  
**SEP. 7, 2020** Room 415, VJU Campus  
Language: Japanese-Vietnamese (Sequential interpretation) or English  
Slides are written in English or both Japanese and Vietnamese  
Registration: [https://qrco.de/20200907RILAP\\_registration](https://qrco.de/20200907RILAP_registration)

**Lecturers**

 Mr. Chihiro Nunoi Hitotsubashi University	 Ms. Kayoko Naito Ob-hashi LFC and Partners	 Mr. Nagaaki Tsukahara Meilin International Law Office	 Mr. Yasunobu Sato University of Tokyo
 Mr. Shobei Sugita Century Law Office and Krio University	 Ms. Maomi Iwase University of Hyogo	 Ms. Eri Habu Shizuoka University	

## 学部プログラムニュース：

日越大学の最初の学士課程プログラムとして、日本学プログラムが10月に開講し、58名の1期生が入学しました。本プログラムは、ベトナムで最も幅広い分野を包括したプログラムの一つであり、その特徴は、高度な日本語能力の習得のみならず、日本の大学と連携した①21世紀型リベラルアーツ教育、②「日本」を広く深く学ぶカリキュラム、③インターンシップ等のキャリア教育などです。

## 人事往来

【着任】9月に新しく3名の専門家が着任しました。

**大塚 武司**（日本語教育プログラム）：

こんにちは。大塚です。3月までハノイの国際交流基金で働いていました。大好きなハノイに戻って来られて、大変、嬉しいです。

**小菅 丈治**（業務調整）：

1993年に初の訪越。縁有って「日越家族」となり、民間企業も含めて今回4度目の業務赴任という「日越人生」です。ベトナムの心を大切に、業務の調整に生かしたいと考えています。

**高梨 薫**（業務調整）：

「日越大学をつくる」という大義のあるプロジェクトに関われることを大変幸運に思っております。調整業務、広報、産学連携を担当いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。

【離任】

**松浪 千春**（日本語教育プログラム） 任期:2017/5/8～2020/08/15



## 今後の予定

- ◇ 11月 6日 第5回日越大学理事会
- ◇ 11月 7日 入学式・修了式
- ◇ 11月 9日 修士課程前期開始
- ◇ 2月 12日～18日 ベトナムテト(旧正月) 休暇

## 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ：<http://vju.vnu.edu.vn/>

日越大学Facebook：（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>  
（日本語）<https://www.facebook.com/jicavju/>

JICAホームページ：<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

## お問い合わせ

日越大学 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメールマガジン編集委員会

E-mail: [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn)

【メール配信停止・変更】配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、日越大学 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメールマガジン編集委員会までメールにてご連絡頂けると幸いです。